

佐賀市議会議員 自民さが たか ひろ

いなば 嵩広

ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。旧年は一方ならぬ御高配にあずかり誠にありがとうございました。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

元日に発生しました能登半島地震で犠牲になられました方々に謹んで心から哀悼の意を表しますとともに、被災をされました方々の1日でも早い復興復旧をお祈り申し上げます。私たちが当たり前のように過ごしている日常が災害によって崩壊してしまう現実を目の当たりにし、改めて安心安全の強靱化を平時から取り組まなければならないと強く自覚いたしました。佐賀市議会においても能登半島地震への義援金を拠出し、少しでも被災地に寄り添っていく所存です。



佐賀市 11 月定例会のご報告

11月29日に開会しました定例会は補正予算の審議をする議会です。今議会では国会において可決された令和5年度補正予算(第1号)の中に「重点支援地方交付金」という交付金が含まれており、本交付金を元に低所得世帯への支援やエネルギー・食料品等の物価高騰に伴う生活者や事業者への支援に関する議案が可決されました。困難に直面している方々への支援が1日でも早く実行されるよう、議会として引き続き注視をしてまいります。

令和5年度11月定例会補正予算 主な事業

子育て世帯物価高騰対策給付金支給事業(子育て支援部) 約2億5300万円
エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面する子育て世帯に対し、進級や進学により更なる出費が重なる時期に臨時的給付金を支給するために要する経費です。

- ・ 給付対象: 佐賀市に住民登録している18歳年度末までの子どもを監護養育する方
- ・ 給付金額: 対象児童一人当たり5千円

住民税非課税世帯生活支援給付金支給事業(保健福祉部) 約20億円
エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯を支援することで、家計への負担軽減を図るために要する経費です。

- ・ 給付対象: 佐賀市に住民票のある令和5年度住民税非課税世帯の世帯主の方
- ・ 給付金額: 1世帯当たり7万円

一般質問 「民間の創意工夫を取り入れ効率的な道路の維持補修を！」

昨今、全国で道路や橋梁の老朽化が問題となっています。佐賀市においても令和30年には市内の道路や橋梁は建設後50年以上を迎える事になり、本市にとっても問題となります。また、保健福祉等への予算が拡大する事により、道路の維持補修への予算は削減される事が予想され、今後は効率的な道路の維持補修が必要になってまいります。

1 問 令和30年の市内の道路や橋梁の老朽化率は？

建設後50年を迎える老朽化した橋梁は約96%であり、本市においても大きな課題であると認識している。

2 問 人件費や材料費の高騰により、道路や橋梁の管理コストが増大すると予想されるが本市の見解は？

今後も人件費や材料費の高騰が続くことが予想され、管理コストが増大するものと考えられる。そのため、年間管理の内容の見直しが必要であると認識している。

3 問 全国的に道路や橋梁の老朽化と管理コストの増大は課題となっている。先進自治体では民間事業者の活力を活かす「包括的民間委託」という手法を取り入れ、これらの課題に対応しようと挑戦している。本市も先進自治体の調査研究をすべきでは？

答 本市でも実施できる施策なのか、先進自治体の調査研究に取り組んでいきたい。

その他の質問 民間企業志向による職員の人材育成について

所属委員会が福祉教育委員会になりました

佐賀市議会では4つの常任委員会に分かれ、各種議案の審査を行っています。今までは経済産業委員会に所属し、経済・農林水産に関する議案の審査を行ってきましたが、令和5年11月定例会から福祉教育委員会に所属いたします。福祉教育委員会では市民のみなさんに深く関わりのある保健福祉や子育て支援に関すること、佐賀市の公立小中学校や図書館など教育に関することを審査します。市民のみなさんにとって佐賀市が住み良いまちと感じて頂けるよう力を尽くしてまいります。

佐賀市の図書館がリニューアル予定です

2026年に開館から30年を迎える佐賀市立図書館が2027年中の完成を目標にリニューアル予定です。当初は2026年の完成を予定しておりましたが、基本構想や基本計画策定が遅れ、1年後倒しの完成予定となりました。また、福祉教育委員会において基本計画策定に必要な市民アンケートの結果が公表されました。アンケートでは普段から図書館を利用している方に図書館に望んでいる事、図書館をほとんど利用していない方に図書館に望んでいる事などが聞かれ、前者では静かに読書や勉強が出来る空間、後者では利用者同士で団らん出来る空間を望むという真反対のアンケート結果となっております。委員会において、この点を担当課に質問したところ「空間のエリア分けによって相反する希望を両立していきたい」との答弁がありました。多くの市民のみなさんに愛される、利用したいと思われる図書館にするために、基本構想や基本計画は極めて重要なものです。福祉教育委員会の委員として様々な先進事例や学術論文から学び、引き続き提言を行ってまいりたいと思います。

佐賀市発展の一躍を担う図書館を目指して

まちづくりで常に注目されるアメリカのポートランド。そこでは大学や図書館が都市の発展に貢献しています。佐賀市でもそんな機能を果たす図書館を目指したいと考えます。



2026年で開館から30年を迎える市立図書館。新しい時代に向けてどのようにリニューアルするのか。



開放的な中央書架スペース。既存の建物をどのように活かすのかも重要なポイントです。



「知識を都市に貢献させよ」アメリカポートランド州立大学にある標語です。知の宝庫である図書館は都市発展の源泉と言えるかもしれません。

佐賀市議会議員

たか ひろ
いなば 嵩広

〒840-0045 佐賀市西田代 2-1-9

TEL 0952-77-0836

WEB サイト



LINE



プロフィール

- ・1985年10月31日生まれ 東京都出身 成蹊大学法学部法律学科卒業。大学卒業後、リグナ株式会社というネット通販会社で経験を積む。
- ・その後、インテリア関係の会社、株式会社ジェイ・シータウン(主な取引先：株式会社飯田産業、防衛省ほか)にて多くの業務に取り組む。
- ・佐賀市西田代出身の妻と結婚した事で、佐賀にご縁を頂き、佐賀で子育てをしたいと妻に相談をし、7年前に移住。11歳の長女と7歳の次女、5歳の長男の子育て真最中!
- ・掃除や洗濯、お皿洗いなどの家事が日課で、休日は料理を担当することも。得意料理はパスタ全般。趣味は読書、料理、キャンプ、ランニング(桜マラソン2度の参加&完走!)
- ・福祉教育委員会、広報広聴委員会、九州新幹線整備に関する調査特別委員会、議会改革等検討会

